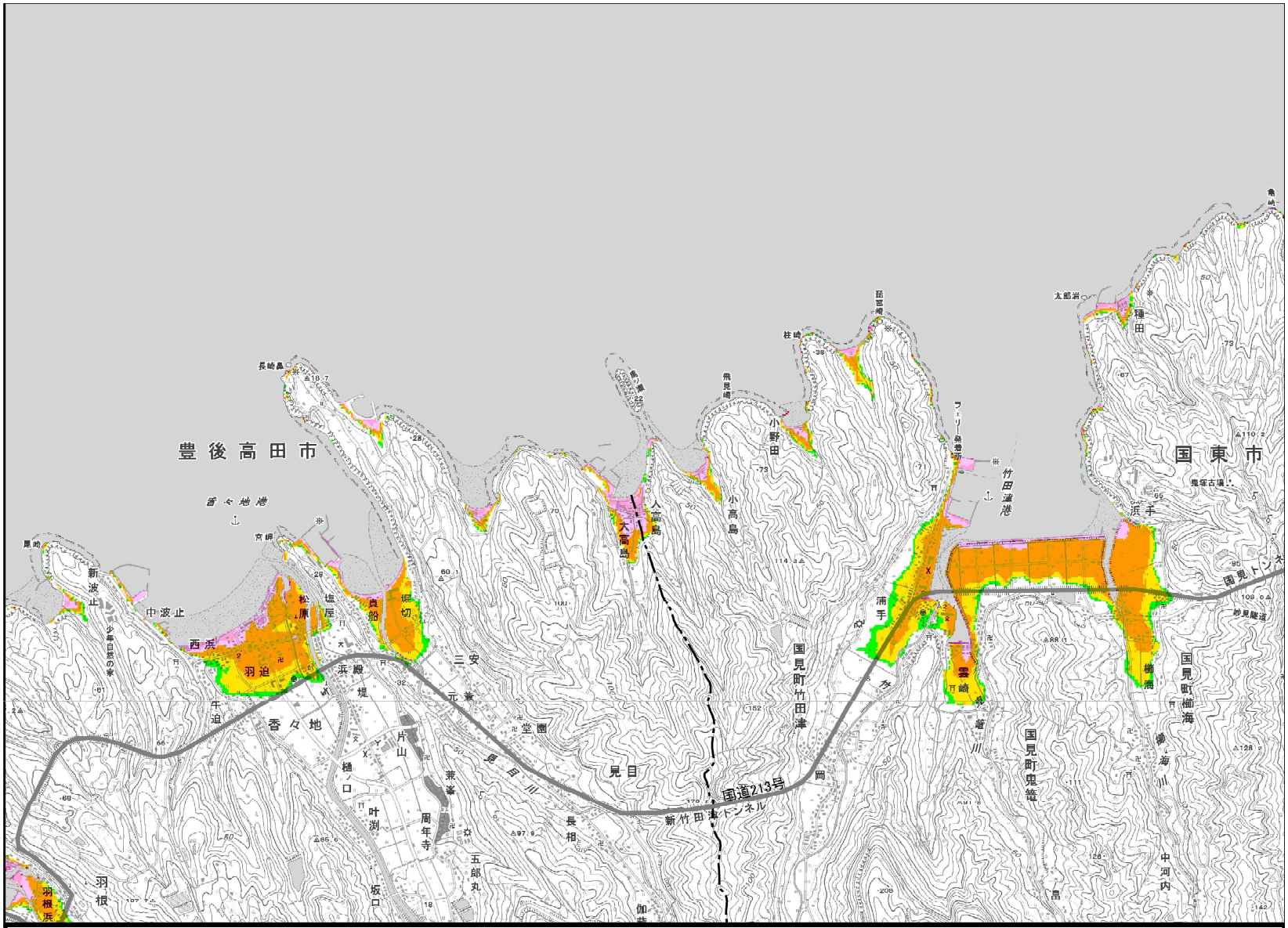
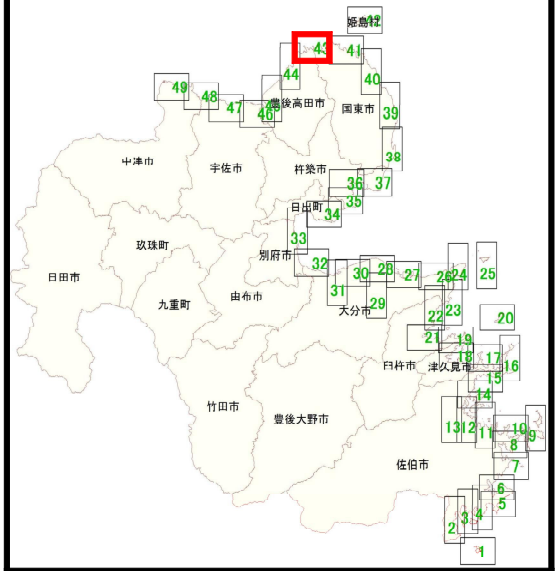
大分県津波浸水想定　市町村別　国東市　（43/49）

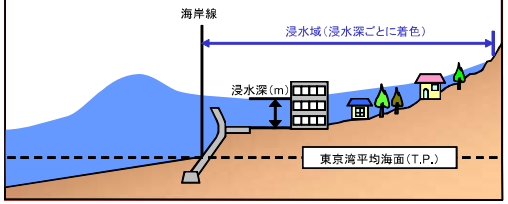
大分県





[用語の解説]
浸水想定について（図1参照）
○浸水域　：海岸線から陸域に津波が遡上した外縁までの範囲
○浸水深　：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ

図1　浸水想定の用語



凡例
浸水深（m）

- 0.3m未満
- 0.3m以上　1.0m未満
- 1m以上　2m未満
- 2m以上　3m未満
- 3m以上　4m未満
- 4m以上　5m未満
- 5m以上　10m未満
- 10m以上　20m未満

1:25,000

500　0　500　1000　1500m

[留意事項]
○「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
○最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凸凹や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。
○浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
○「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
○この浸水想定図は、3地震を重ね合わせた最大の浸水域を表示していますが、平成25年2月に公表した「大分県津波浸水予測図」と、浸水深等は同一です。

この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平25情複、第859号）

平成26年3月作成